

〔卒業後の状況調査〕

1 中学校卒業生

- (1) 平成29年3月の中学校卒業生数は55,188人（男子28,230人、女子26,958人）で、前年より237人（0.4%）減少している。
- ①「高等学校等進学者」は54,556人（男子27,849人、女子26,707人）で、前年より204人（0.4%）減少している。
- ②「専修学校（高等課程）進学者」は78人（男子37人、女子41人）で、前年より9人（10.3%）減少している。
- ③「専修学校（一般課程）等入学者」は43人（男子15人、女子28人）となっている。
- ④「公共職業能力開発施設等入学者」は20人（男子20人、女子0人）となっている。
- ⑤「就職者（進学者は含まない）」は129人（男子107人、女子22人）で、前年より6人（4.9%）増加している。
- ⑥「左記以外の者」は359人（男子199人、女子160人）で、前年より36人（9.1%）減少している。
- ⑦「不詳・死亡の者」は3人（男子3人、女子0人）であった。

図13 中学校卒業生数及び進学率の推移

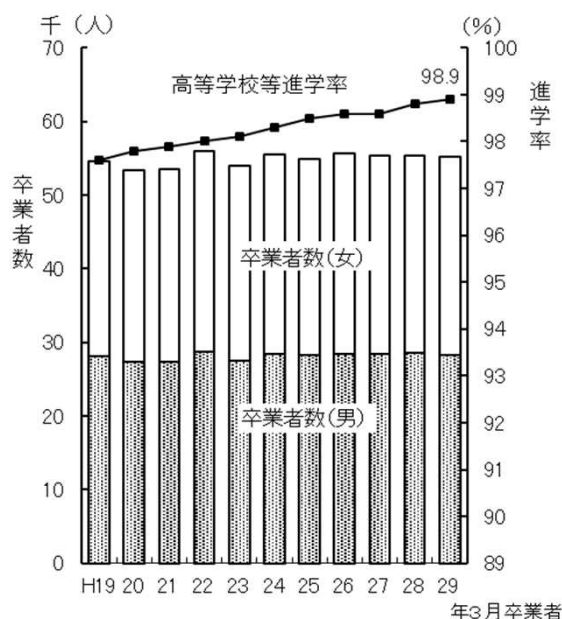


表13 中学校の進路別卒業生数

区 分	卒業生数	高等学校等進学者		専修学校 (高等課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等入 学者	就職者	左記以 外の者	不詳・ 死亡の 者	ABCDのうち 就職してい る者(再掲)	高等学校等進学者のうち 通信制課 程を除く		就職率
		A	B								進学者	進学者	
平成19年	54,625	53,337	52,944	118	73	48	324	720	5	18	97.6	96.9	0.6
20	53,415	52,225	51,749	90	74	37	332	652	5	10	97.8	96.9	0.6
21	53,584	52,439	51,844	118	80	30	210	703	4	4	97.9	96.8	0.4
22	56,030	54,888	54,185	128	91	41	202	671	9	15	98.0	96.7	0.4
23	53,963	52,959	52,354	142	92	29	158	581	2	8	98.1	97.0	0.3
24	55,569	54,606	53,995	115	99	28	187	532	2	10	98.3	97.2	0.4
25	54,860	54,029	53,478	131	70	28	141	460	1	4	98.5	97.5	0.3
26	55,647	54,845	54,283	126	66	24	150	429	7	7	98.6	97.5	0.3
27	55,334	54,577	53,943	103	64	20	162	398	10	5	98.6	97.5	0.3
28	55,425	54,760	53,999	87	34	23	123	395	3	5	98.8	97.4	0.2
29	55,188	54,556	53,591	78	43	20	129	359	3	10	98.9	97.1	0.3

- (2) 高等学校等進学者のうち、高等学校の通信制課程（本科）へ進学した者を除いた進学者数は53,591人で、前年より408人減少し、男子は27,369人で前年より421人減少し、女子は26,222人で、前年より13人増加している。
- 高等学校等進学率（全卒業生数のうち高等学校等進学者の占める割合）は98.9%となっている。このうち高等学校の通信制課程（本科）へ進学した者を除いた進学率は97.1%で、前年より0.3ポイント低下している。男子は97.0%で前年より0.2ポイント低下し、女子は97.3%で前年より0.4ポイント低下している。
- 男女別の進学率は、昭和42年以降女子の進学率が男子の進学率を上回っている。
- (3) 就職者総数（「就職者」に「高等学校等進学者」・「専修学校（高等課程）進学者」・「専修学校（一般課程）等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を加えた全就職者数）は139人（男子115人、女子24人）で、前年より11人増加している。
- ①就職率（全卒業生のうち就職者総数の占める比率）は0.3%で、前年より0.1ポイント増加している。
- ②就職者総数を産業部門別にみると、最も多いのが第2次産業の83人（就職者総数の59.7%）

で、次いで第3次産業の38人（同27.3%）となっている。

- ③就職者総数のうち県外（出身中学校が所在する県以外の県）へ就職した者は21人で、就職者総数の15.1%であり、前年より0.3ポイント上昇している。

2 義務教育学校

- (1) 平成29年3月の義務教育学校卒業生数は32人（男子14人、女子18人）である。

- ①「高等学校等進学者」は32人（男子14人、女子18人）である。
 ②「専修学校（高等課程）進学者」及び「専修学校（一般課程）等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」に進学及び入学した該当者は0人である。
 ③「就職者（進学者は含まない）」の該当者は0人である。

3 高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業生

- (1) 平成29年3月の高等学校卒業生は49,330人（男子24,958人、女子24,372人）で、前年より386人（0.8%）増加している。卒業生の進路別内訳は、「大学等進学者」27,466人、「専修学校（専門課程）進学者」8,766人、「専修学校（一般課程）等入学者」2,947人、「就職者」6,808人、「一時的な仕事に就いた者」572人、「左記以外の者」2,648人、「不詳・死亡の者」2人となっている。

- (2) 大学等進学者数は27,466人（男子13,649人、女子13,817人）で、前年より15人（0.1%）増加している。

進学率（全卒業生数のうち大学等進学者の占める比率）は55.7%（男子54.7%、女子56.7%）となっている。

このうち、大学・短期大学の通信教育部に進学した者を除いた進学率は55.6%で、前年より0.4ポイント低下している。

男女別の進学率は、7年連続で女子の進学率が男子の進学率を上回っている。

図14 高等学校卒業生数、進学率及び就職率の推移

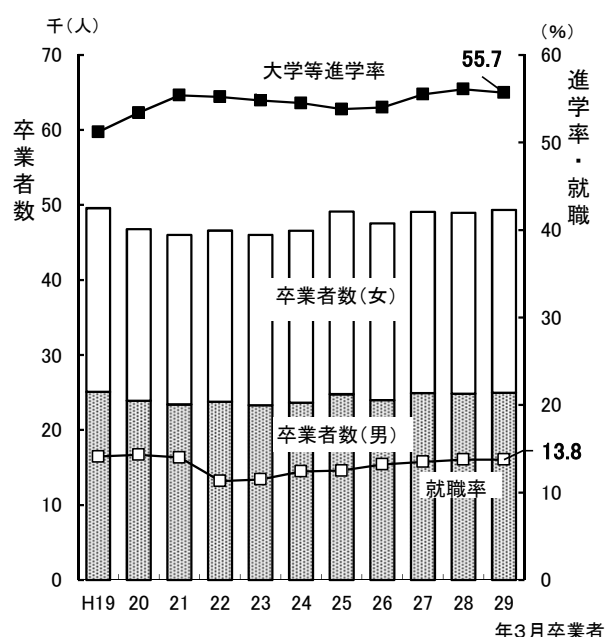


表14 高等学校の進路別卒業生数

区分	卒業生数	大学等 進学者	うち通信教 育部を除く A	専修学校 (専門課程) 進学者 B	専修学校 (一般課程) 等入学者 C	公共職業 能力開発 施設等入 学者 D	就職者	一時的な 仕事に 就いた者	左記 以外の 者	不詳・ 死亡の 者	ABCDのうち 就職してい る者(再掲)	大学等 進学率 (%)	通信教育 部を除く (%)	就職率 (%)
平成19年	49,561	25,386	25,362	9,028	4,418	175	6,996	1,112	2,445	1	11	51.2	51.2	14.1
20	46,767	24,993	24,972	7,630	4,212	126	6,668	932	2,202	2	10	53.4	53.4	14.3
21	45,982	25,453	25,426	6,917	3,980	116	6,404	1,056	2,056	-	19	55.4	55.3	14.0
22	46,579	25,710	25,686	7,748	4,070	120	5,271	1,266	2,389	5	12	55.2	55.1	11.3
23	45,990	25,200	25,178	7,703	4,019	136	5,285	1,065	2,575	7	11	54.8	54.7	11.5
24	46,565	25,359	25,337	8,347	3,434	132	5,741	916	2,627	9	11	54.5	54.4	12.4
25	49,111	26,403	26,389	9,082	3,492	150	6,131	837	3,015	1	11	53.8	53.7	12.5
26	47,553	25,665	25,649	9,038	2,994	110	6,258	885	2,598	5	4	54.0	53.9	13.2
27	49,065	27,214	27,192	9,064	3,000	95	6,621	552	2,517	2	6	55.5	55.4	13.5
28	48,944	27,451	27,433	8,734	3,909	104	6,719	593	1,429	5	11	56.1	56.0	13.8
29	49,330	27,466	27,450	8,766	2,947	121	6,808	572	2,648	2	2	55.7	55.6	13.8

- (3) 専修学校（専門課程）進学者は8,766人（男子3,383人、女子5,383人）で、進学率は17.8%で、前年度と同率である。
- (4) 就職者総数（「就職者」に「大学等進学者」・「専修学校（専門課程）進学者」・「専修学校（一般課程）等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を加えた全就職者数）は6,810人で、前年より80人（1.2%）増加している。
- ① 就職率は13.8%で、前年度と同率である。
 - ② 就職者総数を産業別にみると、製造業が1,788人（就職者総数の26.3%）で最も多く、次いで卸売業・小売業907人（同13.3%）、生活関連サービス業・娯楽業が559人（同8.2%）等となっている。
男女別にみると、男子は、製造業が1,370人（男子就職者総数の35.1%）が最も多く、女子では、卸売業・小売業が585人（女子就職者数の20.1%）と最も多くなっている。
 - ③ 就職者総数を職業別にみると、生産工程従事者が1,727人（就職者総数の25.4%）と最も多く、次いでサービス職業従事者1,436人（同21.1%）等となっている。
男女別にみると、男子は、生産工程従事者が1,422人（男子就職者総数の36.4%）、女子では、サービス職業従事者が1,012人（女子就職者数の34.8%）と最も多くなっている。
 - ④ 就職者総数のうち、県外（出身高等学校が所在する県以外の県）へ就職した者は、1,385人（前年1,488人）で、就職者総数の20.3%であり、前年より1.8ポイント減少している。

図15 高等学校卒業者の男女別にみた主な産業別就職者数の比

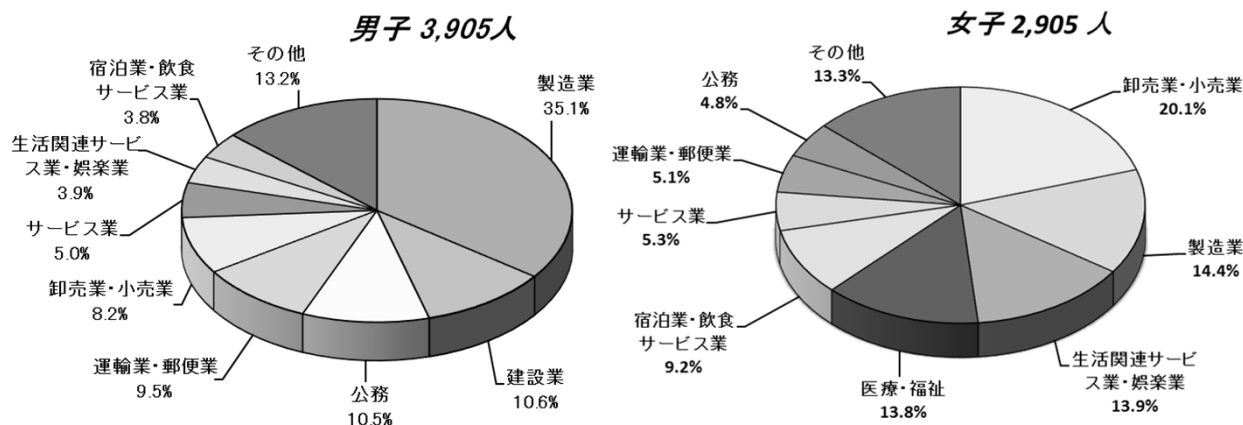
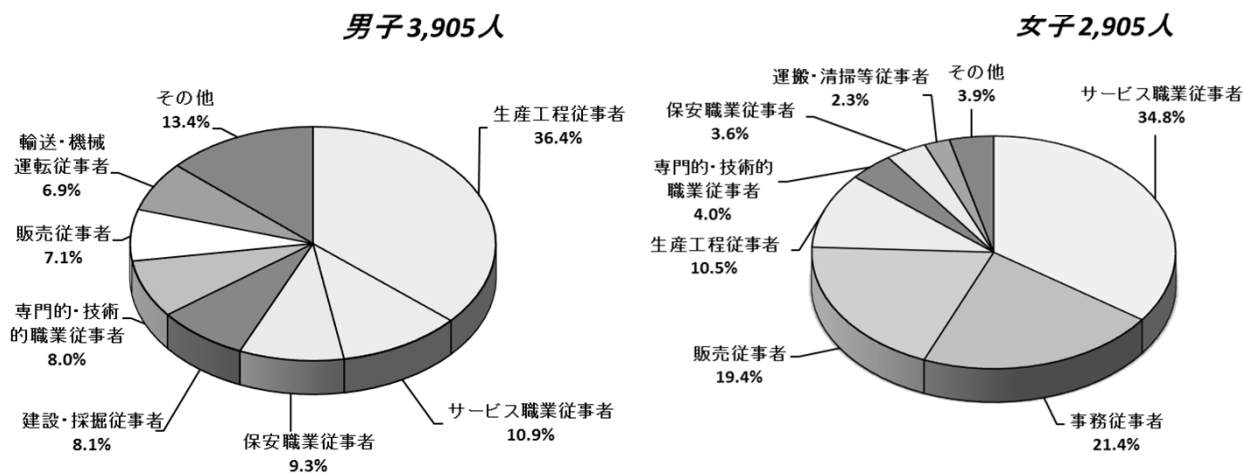


図16 高等学校卒業者の男女別にみた主な職業別就職者数の比



4 高等学校（通信制課程）卒業者

平成28年度間の高等学校（通信制課程）の卒業者数は1,700人（男子897人，女子803人）で，前年度間より44人増加している。

卒業者の進路別内訳は，「大学等進学者」247人（卒業者に占める比率14.5%），「専修学校（専門課程）進学者」494人（同29.1%），「専修学校（一般課程）等入学者」20人（同1.2%），「公共職業能力開発施設等入学者」4人（同0.2%），「就職者」389人（同22.9%），「左記以外の者」546人（同32.1%）となっている。

5 特別支援学校（中学部・高等部）の卒業者

(1) 平成29年3月の特別支援学校中学部の卒業者数は454人で，前年に比べ51人増加している。

卒業者のうち高等学校等進学者数は，451人（卒業者に占める比率99.3%）となっている。

(2) 平成29年3月の特別支援学校高等部の卒業者数は1,049人で，昨年より62人増加している。

①卒業者のうち大学等進学者数は，31人（卒業者に占める比率3.0%）となっている。

②卒業者のうち就職者数は，411人（卒業者に占める比率39.2%）となっている。

〔不 就 学 学 齡 児 童 生 徒 調 査〕

- 1 就学免除者
就学免除者数は学齡児童（6歳～11歳）3人，学齡生徒（12歳～14歳）1人となっている。
- 2 就学猶予者
就学猶予者数は学齡児童7人，学齡生徒2人となっている。
- 3 1年以上居住不明者
1年以上居住不明者数は，学齡児童及び学齡生徒共に0人となっている。
- 4 学齡児童生徒死亡者
平成28年度間に死亡した学齡児童は15人，学齡生徒は10人となっている。

〔学 校 施 設 調 査〕

- 1 学校土地面積
私立学校の土地面積は5,722,199㎡（設置者所有4,946,217㎡，借用 775,982㎡）であった。
公立学校（幼保連携型認定こども園，専修学校）の土地面積は466,722㎡（設置者所有457,684㎡，借用 9,038㎡）であった。
- 2 学校建物面積
私立学校の建物面積は1,981,080㎡（設置者所有 1,957,596㎡，借用23,484㎡）であった。
公立学校（幼保連携型認定こども園，専修学校）の建物面積は77,242㎡（設置者所有77,242㎡）であった。

注）調査対象は私立の各学校（幼稚園，幼保連携型認定こども園，小学校，中学校，高等学校，専修学校，各種学校）及び公立の幼保連携型認定こども園と専修学校である。